

## TI-Blue small Kit 使用法

- ・本品は、主として低真空 SEM(反射電子像)用のキットです。
- ・20本の各チューブには、50 $\mu$ l分のTIブルーを乾固しており、スライドガラス上の切片1枚に対し、1本を使い切る容量にしました。
- ・容器内の1本のスクリーチューブ内には、約2mlの希釈液(pH9.18)があります。
- ・希釈液50 $\mu$ lをマイクロピペットで分注し、チューブ内の乾固したTIブルーを完全に溶かしてからご使用下さい。(原液より薄い濃度をご希望であれば、適宜希釈液の量を変えて下さい)

### 簡単な手技 (例：スライドガラスに貼り付けた組織のパラフィン切片)

- ① パラフィン包埋した切片をキシレンで脱パラ後、エタノール下降系列を経て、蒸留水を通す。
- ② 水気を軽く切ったスライド上の組織切片にTIブルー溶液をマウントし、室温で10~20分間染色する(染色されにくい場合は時間を延長する)。
- ③ 染色後スライドガラスを蒸留水に1~2分浸して切片を洗う。
- ④ 水洗後、組織切片が載ったスライドガラスの水気を切り(組織は濡れたままで良い)、試料台にカーボン両面テープで固定後低真空SEMの試料室に挿入する。

参考文献： ・Tanaka, K. & Inagaki, K., J Electron Microsc 42: 255 (1993)  
・Inaga.s. et al., Arch Hisol Cytol 72(2): 101-106 (2009)  
・Inaga.s. et al., Arch Hisol Cytol 73(3): 113-125 (2010/2011)  
・稲賀すみれ他, 顕微鏡 49(2):147-151 (2014)

TIブルーの廃液は、重金属扱いとして廃棄処理して下さい。

日新 EM 株式会社